

クリーンプラザよこて 建設工事だより

第12号



■発行者■ 横手市役所市民生活部 生活環境課
■発行日■ 平成26年10月15日

ークリーンプラザよこての工事進捗状況をお知らせしますー

工事現場パノラマ写真（10月6日現在）



○プラント建設現場での製品検査



現場には、日々多数の機械設備が納入されてきますが、これらが横手市の要求する基準を満たしているかを、納入の都度厳しく検査しています。検査に当たっては、市担当者のほか、コンサルタント業務をお願いしている業者の担当者とともに専門的見地から意見等を頂き検査を実施しています。

（9月26日 現場にて排ガス循環送風機を検査する様子）

○主要設備の工場検査を行いました



9月29日～10月1日、広島県因島、大阪府八尾市の各工場を訪れ、破碎機の検査を行ってきました。

破碎機は、文字通り粗大ごみや燃やさないごみなどを処理しやすくするために細かく砕く機械です。破碎は一次破碎、二次破碎の工程により処理します。

検査の結果、一部改善を要望し、改善され次第クリーンプラザに納入される予定です。

○熱回収施設の様子



左写真

熱回収施設の現場では、機械設備の据え付け作業と鉄骨の組上げが複雑な手順で進められています。



右写真

バグフィルターの設置状況。

熱回収施設では、排ガス処理設備として大型の機械設備の設置が進んでいます。

左上写真中央に写る二本の円柱は減温塔と呼ばれる装置で、炉から送り込まれてくる高温（約850℃）の排ガスに水を噴霧し、次の処理が可能となる温度（160℃程度）にガスの温度を下げる働きをします。また、排ガスを急速に冷却することで、ダイオキシンの再合成を防ぐことも減温塔の大きな働きの一つとなっています。

二本の円柱を挟むように設置された角柱はバグフィルターと呼ばれる装置です。減温塔で温度が下がった状態の排ガスがバグフィルターに送り込まれます。バグフィルター内には、集じんろ布と呼ばれる筒状の布が多数つり下げられており、排ガスが集じんろ布を通過する際に灰や有害物質を取り除く働きをします。

○南側搬入路の工事状況



南側搬入路（市道新藤柳田1号線）は、アスファルト舗装工事が順調に進んでいます。工事車両が行き来し、付近の水田の稲刈り作業などにご迷惑をおかけしております。

安全な工事を心がけておりますので、付近を通行する際は、ご理解ご協力をお願いいたします。

舗装の完了は10月31日頃の予定です。婦気大堤方面への通り抜けはできませんので、ご注意ください。

「クリーンプラザよこて建設工事だより」は、栄地区の皆さんにお届けするほか、栄公民館、各地域局にも置いています。また、市ホームページにも掲載していますので併せてご覧ください。

ご意見・ご質問は下記へお寄せください。

●横手市市民生活部 生活環境課 電話 35-2184 FAX33-7838

ホームページ <http://www.city.yokote.lg.jp> ページ番号：000016067

E-mail kankyo@city.yokote.lg.jp